小型ワイヤー式検水棒取扱説明書

- 本製品は、黄銅製の検水部（190mm）とステンレスワイヤー部（約4,000mm）で構成されています。
- 検水部先端の溝に適量の水検知剤（ウォーターリボン）を塗布して、「検水口」からゆっくりと差し込み、検水部の先端が地下タンク底に着くまで挿入してください。
  ※同先端部の溝以外の部分に大量に塗布すると、挿入時に目盛テープ等へ水検知剤が付着し、液面計の作動不良の原因となるおそれがありますので充分ご注意ください。
- 検水部が稀にフロート上面へ乗る場合がありますので、挿入時に軽くなったと感じた際は、5回程軽く上下させて、検水部が地下タンク底に着いていることを良く確認したうえで計測してください。地下タンク底へ着いた後、検水部が倒れすぎないようご注意ください。また、検水後、引き抜く場合もゆっくりと引き上げてください。
- 検水作業終了後は布等できれいに拭き上げた後、ワイヤーを折りたたみ、収納ケース（キャップ付き）に収納して所定の場所に保管してください。
  ※ 検水口に挿入する際に落下させるなどすると、液面計内部の目盛テープ等はもとより、タンク底部を損傷・破損させるおそれがありますので、必ず丁寧な取り扱いをお願いいたします。
  ※ ワイヤーを折りたたむ際に強い力をかけて折り曲げてしまうと、ワイヤーに曲げクセがつき、正常に使用できなくなるおそれがありますのでご注意ください。

構　成　／　使用状態

「安全上のご注意」

⚠ 注　意
● 本製品はガソリン・軽油・灯油・A重油を対象としております。前記以外の他の液種へのご使用につきましては、最寄りの当社支店・営業所へお問い合わせください。なお、前記以外の他の液種へのご使用の場合、本製品は補償の対象外となりますのであらかじめご了承ください。
● 本製品は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。本製品が正常に使用できなくなるおそれがあります。
● 検水口キャップは汚れを取除き、確実に締込んでください。ベーパーガス(可燃性ガス)への引火・爆発やオーバーフロー事故・漏油・入水などの原因となります。
● 本製品の使用あるいは不具合に起因もしくは関連する直接的または間接的な損害、その他一切について責任を負いかねますのであらかじめ了承ください。

収納方法

SKK 昭和機器工業株式会社　福岡市博多区博多駅前4丁目33－32　TEL:092－431－5131